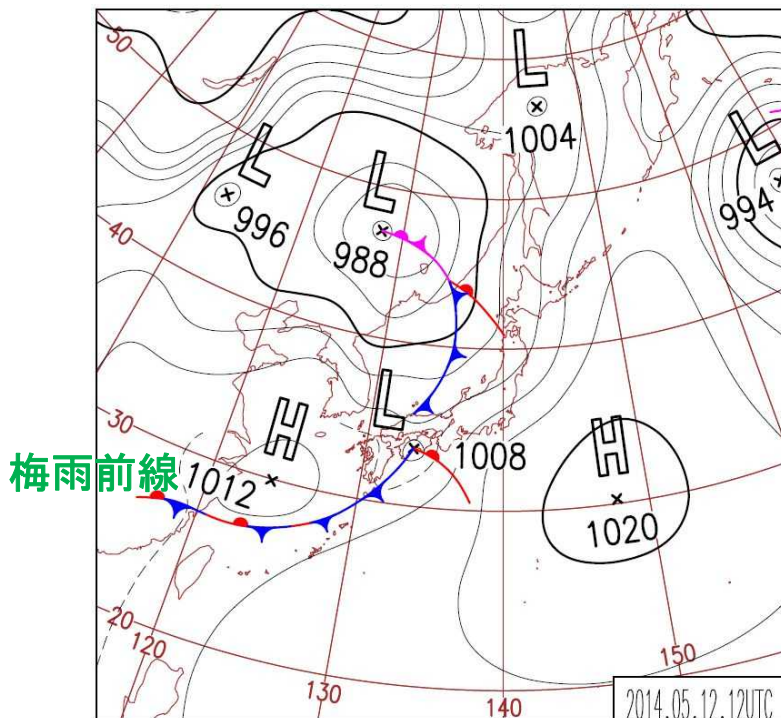


コラム③：梅雨の時期が近づいています

梅雨は、春から夏に移行するときに現れる季節現象です。沖縄の梅雨は本州の梅雨に比べると約1か月早く、平年の梅雨入りは5月9日ごろ、梅雨明けは6月23日ごろです。この期間が二十四節季の「小満」と「芒種」にあたっているため、沖縄ではこの雨季を「スーマン(小満)ボース(芒種)」と呼んでいます。

梅雨入りすると、沖縄近海に梅雨前線が停滞し、この前線に吹き込む南からの暖かく湿った空気により積乱雲が発生・発達し、大雨や集中豪雨となる場合があります。このため、大雨による浸水害や土砂災害の発生しやすい時期となりますが、梅雨明け後の盛夏期に必要な農業用水を蓄える時期でもあります。

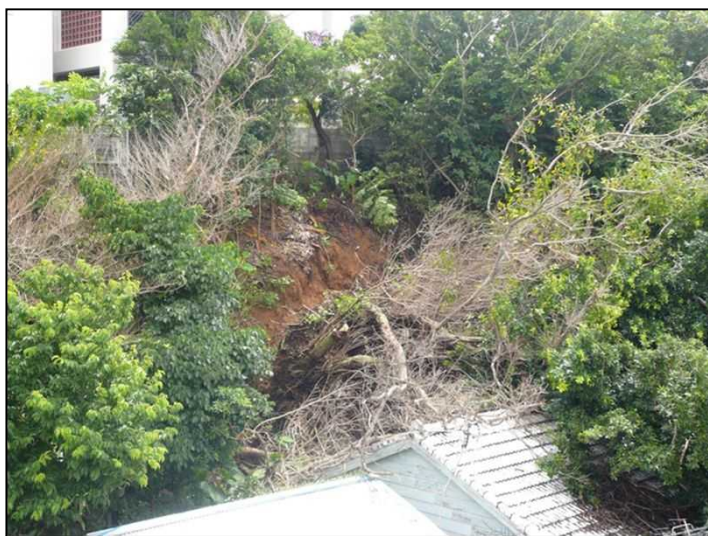
平成26年5月12日21時



気象庁マスコットキャラクターはれるん

天気図の説明(梅雨期間の天気図：平成26年5月12日)

梅雨入り(平成26年は5月5日ごろ)後の5月12日から13日にかけては、沖縄本島地方では梅雨前線や湿った空気の影響を受け、非常に激しい雨が降ったところがあり、那覇の降水量は87.0mmとなりました。浦添市などでは、土砂災害が発生しました。(下写真)



浦添市で発生したがけ崩れ(平成26年5月14日沖縄気象台撮影)

梅雨時期(5月と6月)の降水量の平年値

降水量 平年値	5月 (mm)	6月 (mm)
那覇	231.6	247.2
南大東島	200.6	186.1
宮古島	207.7	185.5
石垣島	206.6	206.6

沖縄気象台提供